

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月05日

計画の名称	所沢駅周辺地区整備計画（第2期）											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	所沢市, 埼玉県											
計画の目標	所沢駅周辺地区におけるまちづくりの将来像である「市の表玄関にふさわしい魅力と活力あふれる新生活拠点」として、様々な多くの人が集まり、楽しく行き交い、また安心して暮らすことのできるまちを実現するため、計画的な土地利用誘導と市街地開発事業等を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	8,698	A	8,698	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (R05末)
1	居住人口を6,594人（H29.12）から7,800人（R05）に増加 事業地区を含む周辺に居住する人口（御幸町+東町+日吉町+東住吉）の統計により算定する。	6594人	人	7800人
2	所沢駅の乗降人員を102,732人（H29）から112,000人（R05）に増加 所沢駅の乗降人員（年度内の一日平均）により算定する。	102732人	人	112000人
3	都市景観や街並に対する市民の満足度の向上 市民意識調査における項目『都市景観や街並の満足度』に対する「満足」+「まあまあ満足」している割合（%）で算定する。	626%	%	650%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	所沢市	間接	組合施行	-	-	所沢東町地区第一種市街地再開発事業	商業・業務、住宅等 約0.6 ha	所沢市						2,183	-	
	A13-002	市街地	一般	所沢市	直接	所沢市	-	-	所沢駅西口土地区画整理事業	土地区画整理事業 約8.5 ha	所沢市						1,136	1.54	
											小計						3,319		
道路事業	A01-003	街路	一般	埼玉県	間接	組合施行	都道府県道	改築	所沢東町地区((都)中央道り線)	拡幅整備 L=57M	所沢市						148	-	
	A01-004	街路	一般	所沢市	間接	組合施行	市町村道	改築	所沢東町地区((都)中央道り線)	拡幅整備 L=57M	所沢市						184	-	
	A01-005	街路	一般	埼玉県	間接	組合施行	都道府県道	改築	所沢東町地区((都)所沢浦和線)	拡幅整備 L=96M	所沢市						371	-	
	A01-006	街路	一般	所沢市	直接	所沢市	区画	改築	所沢駅西口土地区画整理事業	土地区画整理事業 約8.5 ha	所沢市						3,683	-	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31				
配分額 (a)	861				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	861				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	540				
翌年度繰越額 (f)	321				
うち未契約繰越額 (g)	41				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	4.76				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 所沢駅周辺地区整備計画（第2期）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○